

令和8年度における主な新規・拡大事業（社会保障関連）

1 包括的な支援体制の整備（1/2）

- ▶▶ 様々な課題を抱える市民を受け止め、その人の状況に合わせた支援が受けられる仕組みづくりを推進
- ▶▶ 地域の多様な主体がそれぞれの役割や機能を生かしつつ、支え合う地域づくりを推進

新規

〔福祉局 地域福祉推進室〕

238万2千円
(+238万2千円)

地域共生社会に係る啓発及び連携の強化

誰もが自分らしく、生き生きと健康で安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指し、重層的支援体制の整備に向けた基盤づくりを推進するため、関係機関向けの研修や市民向けワークショップ等を開催します。

地域共生社会の概念図



※厚生労働省資料

新規

〔福祉局 地域福祉推進室〕

458万1千円
(+458万1千円)

孤独・孤立対策の推進

孤独・孤立の問題に対しては、社会全体で対応することが求められています。

本市の実情を踏まえた孤独・孤立対策を推進するため、データに基づいた施策等を展開できるよう、市民を対象とした実態調査等を実施します。



孤独・孤立に寄り添う光の妖精
ヒカリノ

令和8年度における主な新規・拡大事業（社会保障関連）

1 包括的な支援体制の整備（2/2）

- ▶▶ 様々な課題を抱える市民を受け止め、その人の状況に合わせた支援が受けられる仕組みづくりを推進
- ▶▶ 地域の多様な主体がそれぞれの役割や機能を生かしつつ、支え合う地域づくりを推進

新規 [福祉局 生活福祉課] 300万0千円 (+300万0千円)

フードバンク活動支援

物価高騰の影響で増加する生活困窮者等の食料支援ニーズに対応するため、市内の生活困窮者等への食料提供を安定させ、セーフティネットの充実を図るとともに、福祉まるごと相談窓口と各支援団体の連携により自立支援体制の機能強化を図る。

【食料が生活困窮者等に届くまでの流れ】※イメージ

補助:100万円 市 (フードドライブ) (防災備蓄品) 企業・団体・農家・市民

フードバンク(NPO団体等)
 ① 食料保管拠点を有している
 ② 食品の寄附を受け入れ、生活困窮者等支援団体に提供している
 ③ 生活困窮者自立相談支援機関と連携している

福祉まるごと相談窓口 医療生協 外国人支援団体 障害者支援団体 高齢者支援団体 フードパントリー 子ども食堂

経済的困窮 外国人 障害者 高齢者 ひとり親 困難を抱える子ども

生活困窮者

拡大 [福祉局 地域福祉推進室] 7,994万8千円 (+2,930万円)

コミュニティソーシャルワーカーの配置

地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備を推進するため、市内7区にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、制度の狭間にある生活課題を抱えた人や自ら支援を求めることができない人等への伴走型支援を実施します。

CSWの役割 ~個別支援から地域支援へ~

困りごと 個別支援 (困りごとへの対応)
 助け合いの仕組みづくり 地域支援 (仕組みづくり)
 地域と協働 地域課題の把握
 伴走型支援

個別支援

- 支援対象者との信頼関係やつながりを形成するため、地域の関係者等との連携のもと、伴走型支援を実施

地域支援

- 顕在化した地域生活課題やニーズを地域の中で共有
- 地域の関係者等による課題解決に向けた仕組みづくりの支援を実施

令和8年度における主な新規・拡大事業（社会保障関連）

3 社会福祉（介護・高齢者福祉）（1/2）

▶▶ 市民一人ひとりが生涯現役で活躍するとともに、住み慣れた地域で健康に暮らせる環境を作ること、誰もが生き生きと長生きして暮らせる地域共生社会を実現

拡 大

〔ねんりんピック推進室〕

4億46万1千円
（+3億4989万7千円）

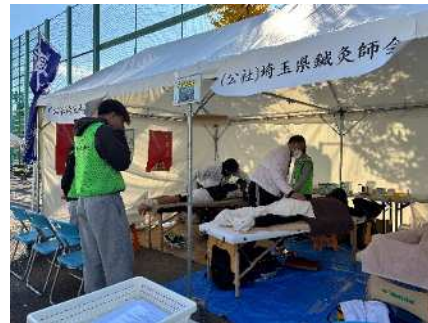
全国健康福祉祭(ねんりんピック)の開催

令和8年11月7日から11月10日までの4日間、60歳以上の方を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典である、第38回全国健康福祉祭埼玉大会(ねんりんピック彩の国さいたま2026)が埼玉県内24市町で開催されます。

本市では、担当する テニス、サッカー、なぎなた、軟式野球、俳句の5種目を円滑に開催します。



俳句リハーサル大会表彰式



健康づくり教室



名称	第38回全国健康福祉祭埼玉大会
愛称	ねんりんピック彩の国さいたま2026
主催	厚生労働省、埼玉県、さいたま市、(一財)長寿社会開発センター
共催	スポーツ庁
テーマ	咲き誇れ! 長寿と笑顔 彩の国
会期	令和8年11月7日(土)から 令和8年11月10日(火)まで

令和8年度における主な新規・拡大事業（社会保障関連）

3 社会福祉（介護・高齢者福祉）（2/2）

▶▶ 市民一人ひとりが生涯現役で活躍するとともに、住み慣れた地域で健康に暮らせる環境を作ること、誰もが生き生きと長生きして暮らせる地域共生社会を実現

新規

〔福祉局 介護保険課〕

2,340万円
(+2,340万円)

介護支援専門員等への資格取得に必要な費用の補助

介護支援専門員や介護福祉士などの確保のため、資格取得のための、研修受講料や受験料について補助します。

【対象となる試験・研修】

- ・介護支援専門員実務研修受講試験
- ・介護支援専門員更新研修
- ・介護支援専門員専門研修 I・II
- ・介護支援専門員再研修
- ・主任介護支援専門員研修
- ・主任介護支援専門員更新研修
- ・介護福祉士国家試験

令和8年度における主な新規・拡大事業（社会保障関連）

3 社会福祉（障害者福祉）（1/2）

▶▶ 障害のあるなしにかかわらず、誰もが権利の主体としてお互いの権利を尊重し、安心して暮らしていける地域共生社会を実現

新規

〔福祉局 障害政策課〕

439万円
(+439万円)

障害福祉サービス従事者養成研修受講料助成事業

人材の確保を促進し、安定的な障害福祉サービス提供の確保を図るため、市内の同行援護事業所及び相談支援事業所で従事するための資格取得に必要な研修受講費の一部助成を実施します。

【助成概要】

- 相談支援従事者初任者研修 23,000円
- 主任相談支援専門員研修 27,000円
- 同行援護従事者養成研修 28,000円

※いずれも補助上限額



関係団体等からの要望が多い相談支援専門員・同行援護従事者(ガイドヘルパー)の養成を目指します！

～助成金支給までの流れ～

- ① 研修修了
- ② 市内事業所で3ヶ月以上勤務
- ③ 研修受講者が、研修修了証等の必要書類にて交付申請(同時にアンケート提出)
- ④ 交付決定・支給

令和8年度における主な新規・拡大事業（社会保障関連）

3 社会福祉（障害者福祉）（2/2）

▶▶ 障害のあるなしにかかわらず、誰もが権利の主体としてお互いの権利を尊重し、安心して暮らしていける地域共生社会を実現

拡大

〔福祉局 障害福祉課〕

31億2,115万9千円
(+2億2,066万8千円)

心身障害者医療費の支給対象者を拡大

心身障害者の方やその家族の経済的負担を軽減し、心身障害者の福祉の増進を図るため、支給対象者を精神障害者保健福祉手帳2級所持者まで拡大し、自立支援医療(精神通院医療)の自己負担額を支給します。

医療費総額



※自立支援医療（精神通院医療）を併用した医療費のみが対象。
入院費、内科・外科受診に係る通院費は対象外。

支給対象の拡大

拡大

〔障害者総合支援センター〕

1,888万5千円
(+636万2千円)

発達障害者地域支援マネジャーの配置による地域支援体制の強化

発達障害のある方に身近で関わっている機関（支援機関・学校・保育所・会社等）の人たちが、発達障害を理解し、一人ひとりに応じた関わりができるよう、発達障害者地域支援マネジャーと一緒に考え、サポートします。

現場への出張研修、様々な現場の職員がつながり支え合えるような取組も行っています。

●地域支援マネジャーの担当区域を拡大します
(令和7年度)4区 ➡ (令和8年度)6区



令和8年度の担当区域

	担当区		担当区以外	
	北区	西区	大宮区	見沼区
北部圏域	北区	西区	大宮区	見沼区
東部圏域	浦和区	緑区	岩槻区	
南部圏域	中央区	南区	桜区	

※担当区以外からの相談も可能な範囲で応じます。

令和8年度における主な新規・拡大事業（社会保障関連）

5 保健医療・公衆衛生（1/3）

▶▶ 市民一人ひとりが健康に生活できるよう、疾病の予防・早期発見・治療を始めとした各種の保健衛生施策を推進

新規

〔保健福祉局 感染症対策課〕

2億2,947万8千円
(+2億2,947万8千円)

RSウイルス母子免疫ワクチンの定期予防接種を実施

RSウイルス感染症の発生及びまん延防止のため、予防接種法に基づく定期予防接種として、RSウイルス母子免疫ワクチン接種を実施します。

【母子免疫ワクチン】

妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時からRSウイルスに対する予防効果を得ることができます。



〔令和8年度実施内容〕

対象者	接種日時点でさいたま市に住民登録(住民票)がある、妊娠28週0日から妊娠36週6日の方 ※過去の妊娠時にRSウイルスワクチンを接種したことのある方も対象です
接種回数	1回(妊娠ごと)

拡大

〔保健衛生局 感染症対策課〕

7億2,464万4千円
(+1億9,476万8千円)

新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施

予防接種法に基づく定期予防接種として、新型コロナウイルスワクチン接種の実施に当たり、接種環境整備のため、個人負担金の更なる軽減を実施します。

〔令和8年度実施内容(予定)〕

対象者	接種日時点でさいたま市に住民登録(住民票)があり、次の(1)か(2)のいずれかに該当する方 (1) 65歳以上の方 (2) 60歳以上65歳未満で、厚生労働省令で定める、心臓、腎臓または呼吸器等の機能に極度(身体障害者手帳1級相当)の障害を有する方
接種時期	令和8年10月～(予定)
個人負担金	※国により令和8年度に用いるワクチンが決定された後に設定・公表します 【参考】 令和7年度自己負担金：12,100円

令和8年度における主な新規・拡大事業（社会保障関連）

5 保健医療・公衆衛生（2/3）

▶▶ 市民一人ひとりが健康に生活できるよう、疾病の予防・早期発見・治療を始めとした各種の保健衛生施策を推進

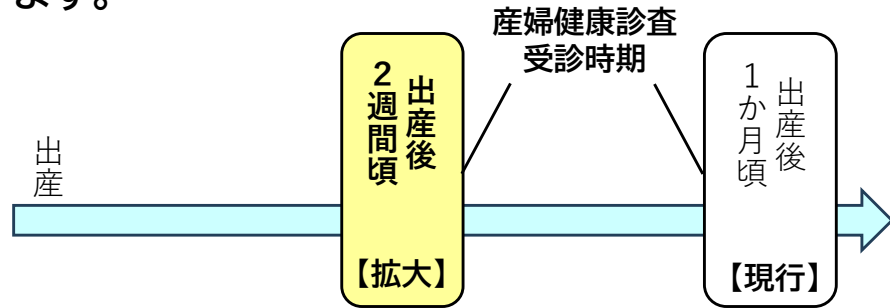
拡大

〔子ども未来局 母子保健課〕

8,648万3千円
(+4,052万2千円)

産婦健康診査の助成回数の拡大

令和8年4月1日実施分から、出産後1か月頃までに受診される「産婦健康診査」の助成回数を、1人当たり2回（上限5,000円／1回）に拡大します。



	助成回数	受診時期（目安）	助成額（上限）
【現行】 令和8年 3月31日まで	1回	産後1か月頃	5,000円
【拡大】 令和8年4月1日 実施分から	2回	産後2週間頃 【今回拡大】	5,000円
		産後1か月頃	5,000円

新規

〔子ども未来局 母子保健課〕

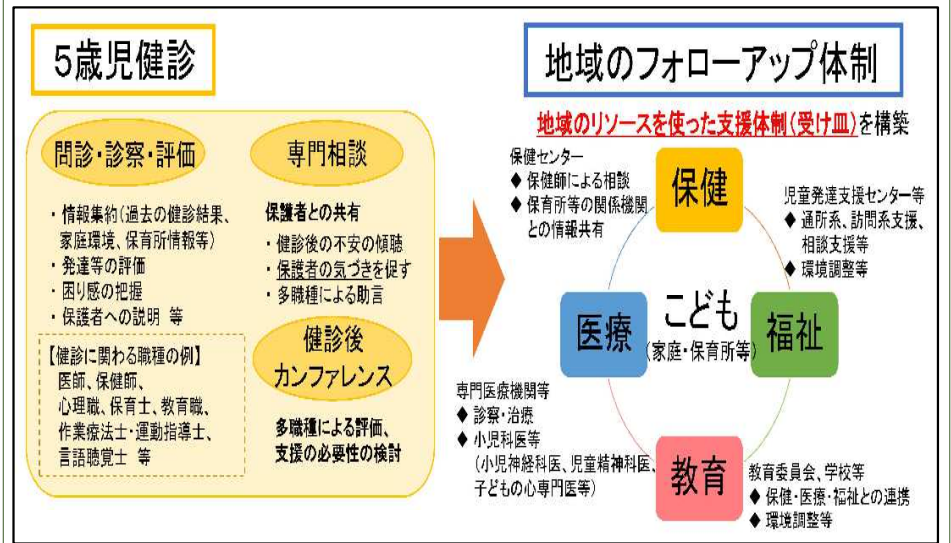
5,588万8千円
(+5,588万8千円)

5歳児健康診査の実施

こどもの特性を早期に発見し、その特性に合わせた適切な支援を行い、幼児の健康の保持及び増進を図るため、発達障害が認知される時期の幼児に対して健康診査を実施します。

- ・令和8年6月頃～（問診票送付）
- ・令和8年8月頃～（集団健診実施）

【図】国が示す「5歳児健診の体制図」



令和8年度における主な新規・拡大事業（社会保障関連）

5 保健医療・公衆衛生（3/3）

▶▶ 市民一人ひとりが健康に生活できるよう、疾病の予防・早期発見・治療を始めとした各種の保健衛生施策を推進

拡大

〔子ども未来局 母子保健課〕

1億6,874万7千円
(+4,557万6千円)

産後ケア事業の拡充

産後ケア事業のサービス提供事業者数を拡大し、これまで以上に、産婦が利用しやすい体制を整備します。

利用者負担の軽減

サービス提供事業者の拡大

支援を必要とする方が必要なタイミングで支援を受けられる

また、サービス提供事業者の受皿を拡大するため、施設修繕等に係る補助可能件数を拡充します。

さらに、虐待や産後うつリスクが高い産婦を受け入れた場合に、委託料への加算を拡充し、安心して利用できる体制を整備します。

拡大

〔保健衛生局 保健衛生総務課〕

7億7,818万2千円
(+2億4,127万8千円)

(仮称)さいたま市口腔保健センターの整備と障害者歯科診療の推進

(仮称)さいたま市口腔保健センターの整備について、令和8年度は、開設予定地である旧中央区役所保健センターの解体工事及び新施設の建設工事を実施します。

また、障害者歯科診療の推進については、引き続き、障害者歯科相談医ガイドブックの配布による情報提供に加え、障害者歯科相談医等が在籍する地域の歯科医療機関と連携した障害者歯科相談医等連携・紹介会議を実施します。

【口腔保健センター外観イメージ】



※ 実施設計時点

【ガイドブック】

